

○航空安全ハイレベル会合 (High Level Safety Conference)

ICAO締約国の航空安全責任者が、今後ICAOが取り組むべき重要な安全施策について議論する不定期会合。平成27年2月に第2回会合が開催され、日本を含む120カ国、オブザーバー35団体が参加。

○会合の結果概要

①マレーシア航空370便行方不明事案

ICAOにおいて、飛行中の航空機が行方不明となった場合に位置の特定が迅速に行えるよう、航空機の航跡把握のための具体的な要件を検討することとなった。

②マレーシア航空17便撃墜事案

航空会社が紛争地域上空における運航リスクの評価を行えるよう、各締約国の提供する当該地域のリスク情報を一元的に提供することとし、ICAOにおいてプロトタイプシステムを開発することとなった。

③更なる航空安全の向上等

航空先進国において導入が進んでいる航空安全プログラムや安全管理システムについて、途上国にも導入を推進するべく、地域間の協力を一層進めることとなった。